

ご愛読者の皆さまへ ~定期購読申し込みのお願い~

いつもThe Watch & Jewelry Todayをご愛読いただき、有難うございます。
これまで無料でご愛読いただいていた皆様の郵送を昨年6月15日より順番にお止めさせていただきます。



●発行所 (株)時計美術宝飾新聞社
編集発行人 藤井正義
〒110-0015 東京都台東区東上野1-26-2
ジュエラスタウン・オーラム508



保険のご相談は(株)東時へ 本社:03-5817-0353 西日本支社:06-6252-4477



リモート参加の木方氏=上=と内田氏

懇談会には、技術者協会から木方伸一郎会長、内田豪教育部長、杉本佳菜子広報部長、山崎親一会員組織部長、白山聡一眼鏡作製技能士PR特別委員会委員長(推進機構代表幹事代行)、推進機構から岡本育三代表幹事、風早昭正代表幹事代行が参加した。

はじめに美濃部眼鏡記者会代表幹事が「眼鏡作製技能士がいよいよ始まる。資格制度の現状、そして将来像についてお話をいただきたい」とあいさつ。団体側のファシリテーターを務める白山氏が参加者を紹介した。

技能検定の学科試験申込締切日は2月28日。受験申込者数は2月23日現在1343人で、このうち1級が471人、2級が872人。男性1119人、女性224人。個人申込771人、団体申込572人。認定眼鏡士が対象の特例講習会は3月1日からの申込となるが、昨年12月に技術者協会が認定眼鏡士会員にアンケートをとったところ(回答率78%)、5168人が受講を希望と明らかにした。

「眼鏡作製技能士の現在そして未来」
そして未来
国民生活者に認知され、同資格がスタンダードに
技術者協会・推進機構と懇談

5月に開催予定と説明した。眼鏡作製技能士PR活動については白山氏が説明。眼鏡作製技能士という新しい資格を国民・生活者にあまねく認知・支持されるようPR活動をする責任があることを前提に「眼鏡作製技能士と技能士を雇用する店舗ははじめメーカー、卸商社など、眼鏡にかかわるすべての事業者、業界団体が参加する新体制をつくったうえでPRしたい。生活者に向けたPRを実施することで、同時に業界内部にも技能検定の意義が浸透すると考える。眼鏡作製技能士の諸課題は厚労省や眼科医会との意見調整を経なければならず、確定したことはではないが、ポータルサイトで眼鏡作製技能士と有資格者の在籍する店をつなげる仕組みを作りたい。眼鏡作製技能士はどのようなことができるのか、どのようなサービスを提供するのか、そういった情報を発信し共有することで資格を浸透させたい」と、新団

(眼鏡記者会共同)昨年8月、技能検定に「眼鏡作製職種」が新設され、いよいよ今年、国家検定資格を有する眼鏡作製技能士が誕生する。眼鏡記者会(6社7紙誌加盟、美濃部隆代表幹事)は、『眼鏡作製技能士制度導入の執行部』となる(公社)日本眼鏡技術者協会(指定試験機関)および眼鏡技術者国家資格推進機構の幹部と「眼鏡作製技能士の現在そして未来」をテーマに、2月24日、東京で懇談、技能検定の受検者数をはじめ、試験準備の進捗状況、新しい業界団体、眼鏡作製技能士の理念や未来の展望などのほか、円滑な試験の実施、業界を包括する新団体による活動の必要性、技能士の倫理観など、懇談は多岐にわたった。



左から白山、杉本、岡本、風早、山崎各氏

がPRの役割を担うことを明らかにした。PRに関連して、某大手チェーンが2024年までに500人の社員を眼鏡作製技能士にさせると宣言したことについて白山氏は「眼鏡作製技能士は業務独占ではなく個々の活動について制限できない。しかしこの資格は公正取引に関する法律などについても理解することが前提だ。どのような業態の店・人であっても決められたことを遵守してもらうことが求められる。それを管理できるように新団体をつくり、眼科医、視能訓練士とも連携しながらの運営を実現したい」とした。

これまで技術者協会が実施してきた生涯教育については、制度を踏襲するの、また義務化できるのかという課題がある。これについては木方氏が回答、「技能検定に更新の義務はないが、資格を取得したらそれで終わりでは国民の信頼を得るうえで物足りない面がある。眼鏡作製技能士は日進月歩の技術や情報、最新の製品知識を持っていることが求められる。倫理やコンプライアンスなども念頭に置かなければならず、生涯教育のようなものが

世界最大のジュエリーフェアを
一時的にシンガポールで開催
香港では特別版を実施

Informa Marketsが9月に香港で主催する「ジュエリー&ジュエルワールド(JGW)」を、世界のサプライヤーやバイヤーの安全面、アクセスが考慮され、リアル展示会をより利用しやすいものにするを目的に、一時的にシンガポールで開催地を移し、アジアで最大かつ最も重要なB2Bフェア「JGWシンガポール」として、今年の9月27日~30日まで、シンガポールエキスポで開催することを決定した。なお、会場の変更は2022年のみとなる。



Informa Markets in AsiaシニアバイスプレジデントのDavid Bondi氏は「過去2年間は誰にとっても非常に困難な年だった。私たちは業界として事業を継続するだけでなく、前進するために最善を尽くしてきた」と述べ、「業界関係者の多くは、安心して参加できるリアル展示会を望んでいる。弊社は過去数カ月に渡り欧米、中東、アジアで大規模な対面イベントを成功裏に開催してきた。今年から来年に向けてもさらに多くの展示会を開催予定です」と続けた。さらに、「ジュエリー業界初の国際的なB2B展示会『ジュエリー、ジュエル&テクノロジーバイ(JGTDBI)』を立ち上げた。初開催だったが、100の国と地域からバイヤーが集まり、業界の人々が対面でのやり取りを本当に必要としていることを実感した。JGWシンガポールがパンデミック後のイベント業界を活性化するリーディング役としての役割を果たす事を確信している」と付け加えた。

また、Informa Markets Jewelleryエリート展示会(JGW)を安全かつ効率的に開催する力が

特別版「香港フェア」

「ジュエリー&ジュエルアジア香港(JGA-特別版)」は、6月16日~19日、「ジュエリー&ジュエルワールド香港(JGW-特別版)」は、9月16日~19日に開催予定。バイヤーと一般消費者の両方が来場できる特別版は、旅行制限が解除された後、中国を拠点とするバイヤーの来場にも期待される。両イベントでは、2021年に好評を得た中国本土と海外のバイヤーを対象としたライブストリーミングセッションなどのオンラインプログラムも実施予定だ。「JGWシンガポール」と「特別版の香港フェア」に加え、11月2日~5日「ジュエリー&ジュエルアセアンバンク(JGAB)」が立ち上げられる。JGABは、年末年始商戦に向けた東アジアのバイヤーのニーズに応える絶好の機会となる。さらに、今後8つの都市で10のリアルイベントと、5つのディレクターのCeline氏は「パンデミックを背景に、シンガポールには世界で最も象徴的なジュエリー展示会(JGW)を安全かつ効率的に開催する力が

オーロラは電話・FAXで注文できます。
お問い合わせもお気軽に!!
喜平や定番のチェーンやコインデザインアイテムなど地金製品ならお任せください。
ネットなら値段も在庫も一目でわかる
https://www.aurora.jp

村田宝飾
The Jewelry Concierge
https://mns.murata-ibrain.jp
修理もリフォームも自社工房でご対応します。

ギョットキャッチ
耳を優しくホールド
フィットして落ちにくい
ピアスがイヤリングに大変身!
知財申請済(特許・意匠等)
類似品にご注意ください。ピアスを穴に通すだけ!
KOHSAI 1955年創業 国内生産ジュエリーメーカー

貴金属製品に含まれる成分を
約10秒で簡単・高精度に分析! 貴金属X線分析計
GoldXpert(Si-PIN)
¥3,278,000(税込)
アルファミラージュ株式会社
TEL.06-6924-2631 FAX.06-6924-2022

本当のダイヤモンドの美しさを語りませんか?
Light Performance Results
Total Grade Ultimate
INSPIRE CONFIDENCE sarine.com
日本総代理店・株式会社AP 03-5818-0361

LANVIN COLLECTION
栄光時計株式会社
03-3837-0783